

## 【事例1】前田建設工業(株)東京建築支店における廃棄物管理

事業所名	前田建設工業株式会社 東京建築支店
事業内容	東京都、神奈川県、千葉県、山梨県における建築物の施工、解体等
従業員数	552名
廃棄物データ	排出量 産業廃棄物：14,284t 特別管理産業廃棄物：19.8t ※平成25年度神奈川県内施工現場排出量実績

### 1. 取組の概要

前田建設工業は1994年に『MAEDA環境行動指針』を制定。2000年には同指針を『MAEDA環境方針』に改訂し、環境負荷低減に取り組んできた。

さらに環境活動を強化するために現社長が就任した2009年に『MAEDA環境経営宣言』を社会に発信。“地球も私たちMAEDAの

大切なステークホルダー”と位置付け、“環境経営 No.1 といわれる建設会社をめざす”ことを定め、その実現に向けて活動している。



### 2. 取組の内容

#### (1) 環境目標の設定

当社では環境活動について上位の社長方針から実際に活動を行う部門の実施計画まで一貫して環境に係る項目を挙げ、年次目標達成に向けた活動を行っている。当支店の2014年度目標は産業廃棄物リサイクル率98%以上(汚泥、石綿含有廃棄物除く)としている。

#### (2) 実施事項の具体化

現場における具体的な環境活動実施事項として表.1の内容を『MAEDA版環境ルール』に定め、義務付け、各現場で条件が異なるなか、自現場では何が出来るかを考えて実行している。

また工期中途に開催される施工検討会において、支店職員が現場の活動状況を確認し、必要に応じて指導を行っている。

表.1 MAEDA 版環境ルール実施事項(廃棄物に係る内容のみ抜粋)

減容化	ウレタン、プラスチック容器の破砕機による減容
発生抑制	省梱包、通い箱による現場搬入 プレカット（LGS、ボード、配線材）
再利用	資材、工具、用品などをできるだけ転用し、有効利用
再資源化	産業廃棄物について、9品目以上の分別回収ほか単品回収 建設汚泥等の自ら利用を検討し、 <u>可能な場合</u> は実施

### (3) 分別徹底の工夫

リサイクル率向上のため、分別を徹底して混合廃棄物の低減に取り組んでいる。

大規模現場においては作業員が廃棄物保管場所への廃棄物搬入可能時間を図.1 のとおり指定し、監視員が立会い、分別指導を行っている。これにより誤った品目への投入、安易な混合廃棄物への投入を防いでいる。

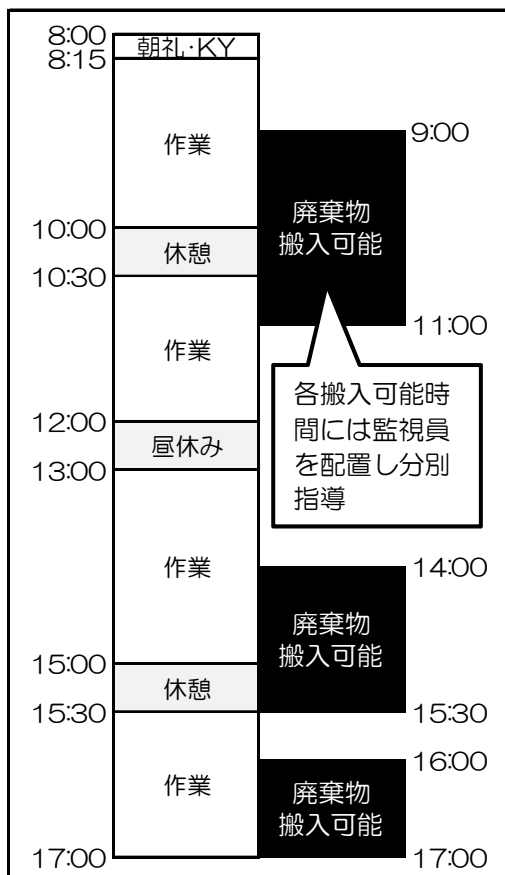


図.1 廃棄物搬入時間設定の一例



写真.1 廃棄物保管場所整備状況



写真.2 監視員立会状況

#### (4) マニフェストの電子化推進

当支店における発行マニフェストのうち電子マニフェストが占める割合を示したものが図.2である。2011～2013年度は93～94%で推移してきていたが、2014年度からは、それまでなるべく電子マニフェスト運用可能業者と契約締結することとしていたもの

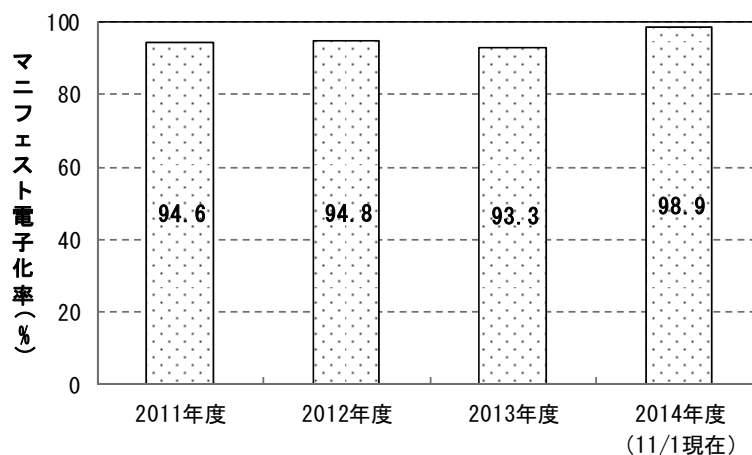


図.2 マニフェスト電子化率

のを地域や排出する廃棄物の特性などにより、やむを得ない場合を除き必須とした。

そのため、未だ年度中途のデータであるが98.9%と上昇につながったものと考えている。

#### (5) サプライヤーとの協働

木くず処分の委託先を集約し、委託先の再生品であるパーティクルボードを建築資材として購入、床材などに使用することで、マテリアルリサイクルを図.3のような内部循環させる取組みを行っている。

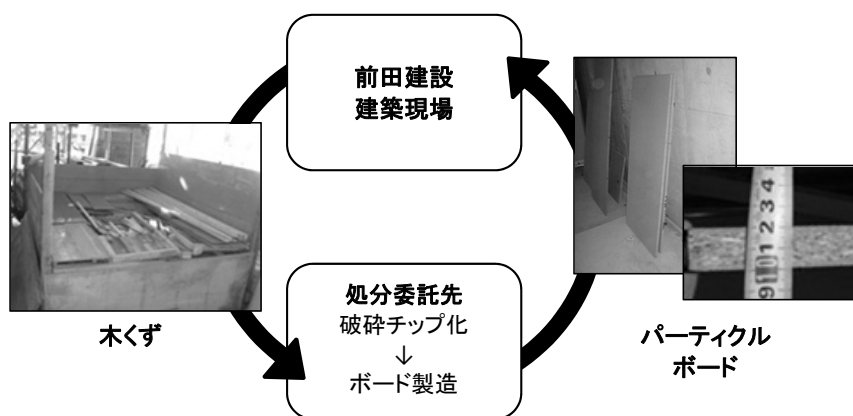


図.3 木質材料の内部循環

2013年度の関東圏内におけるパーティクルボード調達量は約1,250t、木くずの排出量は約940tで調達するパーティクルボードの原料のうち75%程度は当社のリサイクル材が充てられたことになる。

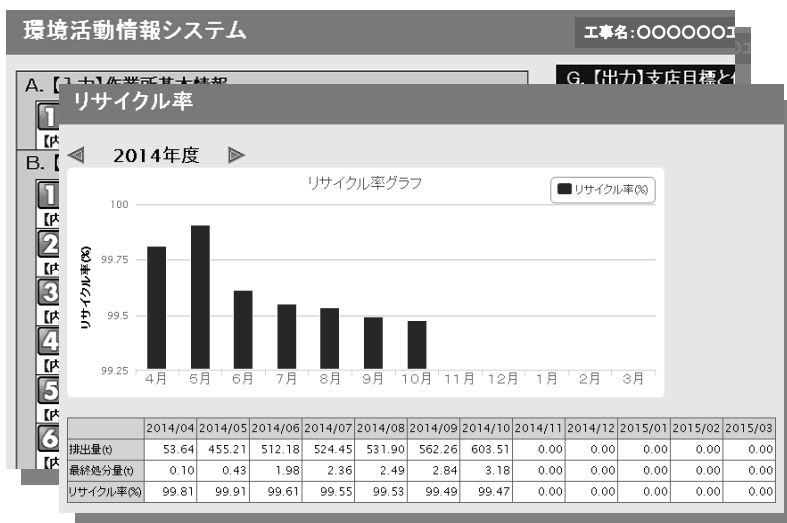


写真.3 ボード施工例(マンション床工事)

#### (6) 活動結果の見える化

弊社では廃棄物のみならず、CO2など環境活動のデータ集計、結果の見える化

を図るため、イントラネットに『環境活動情報システム』を構築、運用している。マニフェストのデータも集積され、リサイクル率が自動計算され、各現場のリサイクル率をいつでも確認可能となっている。



### (7) 活動事例収集、

#### 優良事例の水平展開

各現場の環境負荷低減活動事例について『環境活動情報システム』内のデータベースへの登録を依頼、事例収集を行っており、全国の現場から廃棄物に関する活動も寄せられている。この中から優秀事例については本店から全社に水平展開される。

図.4 活動結果表示例

The screenshot shows the '環境取組管理' (Environmental Activity Management) interface. It includes a sidebar with navigation options like '店基一覧' (Store List), '作成日順' (By Creation Date), '支店・期・作業所 累計' (Branch/Period/Workshop Summary), '期・土建・支店' (Period/Construction/Shop), '取組分野・期・支店・作業所' (Activity Field/Period/Shop/Workshop), '削減量一覧' (Reduction List), '支店・オフィス 作業所 累計' (Branch/Office/Workshop Summary), '全社・支店 土建・月 集計' (Company/Branch Construction/Monthly Summary), and '全社・支店 土建 累計' (Company/Branch Construction Summary). The main area shows a list of activities with columns for '作成日' (Creation Date) and '所属' (Affiliation).

作成日	所属	種別
2014/08/29	九州支店九州中央病院作業所	現
2014/08/29	九州支店九州中央病院作業所	日
2014/08/28	九州支店建築部建築施工G(九州)	マ
2014/08/28	東京建築支店総務G(東京建築)	工
2014/08/28	九州支店調川トンネル作業所	コ
2014/08/28	九州支店調川トンネル作業所	建
2014/08/28	九州支店調川トンネル作業所	移
2014/08/28	九州支店調川トンネル作業所	勞
2014/08/25	九州支店グラッドマン浄水作業所	現
2014/08/25	九州支店グラッドマン浄水作業所	現
2014/08/25	九州支店グラッドマン浄水作業所	工
2014/08/22	関東支店安曇野市庁舎	散
2014/08/21	九州支店久留米総合病院作業所	工
2014/08/20	関西支店栗東シールド作業所	散
2014/08/19	関西支店栗東シールド作業所	工

図.5 環境取組データベース

### 3. 苦労した点

イントラネット社内掲示板やメールだけでは、なかなか活動の展開は進まなかった。時期により変動するが支店管内で約70か所の現場があり、活動の展開を速やかに行う事が出来なかった。支店職員が現場に行くたびに説明し、なんとか現在の状況にこぎつけている。

### 4. 取組の成果

2014年12月末において廃棄物のリサイクル率は目標98%に対し、実績98.5%と目標を達成している状況にある。

### 5. 今後の取組

弊社の長期目標としてリサイクル率100%(汚泥、石綿含有廃棄物除く)を目指しており、今後もこれらの活動を地道に行い、リサイクル率の向上を図っていく。